



2025 年 11 月 14 日

各 位

会 社 名 アズマハウス株式会社
代表者名 代表取締役社長 東 行男
 (コード番号:3293 東証スタンダード)
問合せ先 常務取締役 真川 幸範
 (TEL.073-475-1018)

2026 年 3 月期第 2 四半期（中間期）業績予想数値と実績値との差異に関するお知らせ

2025 年 5 月 15 日に公表しました 2026 年 3 月期第 2 四半期（中間期）業績予想と本日公表の実績において差異が発生いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 2026 年 3 月期第 2 四半期（中間期）の連結業績予想と実績の差異（2025 年 4 月 1 日～2025 年 9 月 30 日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する 中間純利益	1 株当たり 中間純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	5,870	582	542	370	45.96
今回実績 (B)	5,073	423	380	238	29.58
増減額(B - A)	△796	△158	△161	△131	—
増減率 (%)	△13.6	△27.3	△29.9	△35.6	—
(参考) 前連結第 2 四半期 (中間期) 実績 (2025 年 3 月期第 2 四半期)	6,685	687	653	445	55.37

2. 2026 年 3 月期第 2 四半期（中間期）の個別業績予想と実績の差異（2025 年 4 月 1 日～2025 年 9 月 30 日）

	売上高	経常利益	中間純利益	1 株当たり 中間純利益
	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	5,123	433	300	37.27
今回実績 (B)	4,355	292	190	23.67
増減額(B - A)	△767	△140	△109	—
増減率 (%)	△15.0	△32.5	△36.5	—
(参考) 前第 2 四半期（中間期）実績 (2025 年 3 月期第 2 四半期)	5,938	554	380	47.23

3. 差異の理由

2026 年 3 月期中間期連結会計期間の業績につきましては、不動産・建設事業において、棚卸在庫の減少に加え、売上可能な物件の確保の遅延、原価高騰による消費マインドの鈍化が予想を上回ったことなどにより、連結売上高は業績予想対比で 13.6%、796 百万円の減収となりました。

連結営業利益は、売上減少が要因となり業績予想対比 27.3%、158 百万円の減益となりました。

連結経常利益は、売上減少はしたものの営業外収益は、ほぼ同水準となり業績予想対比 29.9%、161 百万円の減益となりました。

親会社に帰属する中間純利益は、特別損益や租税等の差異はないものの業績予想対比 35.6%、131 百万円の減益となりましたが、他のセグメントの業績は、ほぼ予想通りの水準となりました。

個別の業績につきましても連結と同様の理由によるものです。

4. 今後の見通し

2026 年 3 月期の通期業績予想につきましては、2025 年 5 月 15 日に公表した数値から変更はございませんが、本件以外の要因も含めて、適正かつ合理的に算定することができ次第、修正を公表いたします。

以 上